

石巻エリア

石巻市／女川町／東松島市



石巻エリアは県東部に位置し、石巻市、女川町、東松島市からなる2市1町です。世界三大漁場の一つである金華山沖漁場が近く、魚市場には年間を通じて豊富な魚種が数多く水揚げされています。

石巻市では、「石巻市震災遺構門脇小学校」の整備が完了し、令和4年4月に一般公開を開始しました。

女川町では、島民の宿願であった出島大橋が令和6年12月19日に開通し、記念式典が執り行われました。当日はブルーインパルスが披露され、式典に花を添えました。

東松島市では、「道の駅東松島」が令和6年11月27日に開業しました。

石巻エリア

被害状況

	地域合計	県内合計
死者	5,301人	10,571人
行方不明者	696人	1,215人
全壊	28,487棟	83,005棟
半壊	18,957棟	155,131棟

令和5年9月30日現在

応急仮設住宅入居者数

	平成24年4月	令和2年12月
プレハブ住宅	24,517人	0人
民間賃貸借上住宅	16,968人	0人
計	41,485人	0人

災害公営住宅整備状況

	平成31年3月末
計画戸数	6,416戸
完了戸数	6,416戸



出島架橋(女川町)の開通記念式典



道の駅東松島開業式典



石巻エリアの定点観測

石巻市中瀬地区

石巻市中心部と中瀬地区を結ぶ「西内海橋」は、東日本大震災により大きな被害を受けましたが、令和3年1月から名称も新たに「西中瀬橋」として供用を開始しました。



被災直後

写真提供：3.11 オモイデアーカイブ



被災から15年後

石巻市南浜地区

令和4年3月、旧北上川の河口付近に、東の湊地区と西の南浜・門脇地区をつなぐ「石巻かわみなと大橋」が完成し、住民生活の利便性の向上や、災害時の救助・救援道路としての役割が期待されています。



被災直後

写真提供：3.11 オモイデアーカイブ



被災から15年後

女川町女川地区

壊滅的な被害を受けた女川駅周辺は、多くの人々が訪れ賑わう空間となりました。この女川駅前商店街エリアは、令和3年4月に「道の駅おながわ」として登録されました。



被災直後



被災から15年後

東松島市野蒜地区

「東松島市東日本大震災復興祈念公園」には、津波の被害を受けた旧野蒜駅プラットフォームが震災遺構として保存されており、隣接する祈念広場には慰霊碑(震災復興モニュメント)があります。



被災直後



被災から15年後